

令和7年度 木更津市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和8年5月

木更津市（千葉県）

○計画期間:令和7年4月～令和12年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市は内閣総理大臣より2期目となる中心市街地活性化基本計画の認定を受け、令和7年4月から令和12年3月までの間、『人と人とが行き交い、みんなが愛着を感じるみなとまち 木更津』を活性化のテーマとして掲げ、「にぎわい、交流を生むみなとまちへの持続的発展」、「魅力ある住環境の整備」、「商業環境の充実による経済活力の向上」の3つを基本方針に設定し、各種事業に取り組んでいるところである。

ソフト事業では、駅東口では「かずさYOSAKOI 木更津舞尊」、駅西口では「木更津港まつり」や「木更津こどもまつり」など、多くのイベントが開催されたことにより、市内だけでなく、県内、県外からも多くの方が訪れる機会が創出され、中心市街地のにぎわいが創出された。

また、ハード事業では「木更津駅みなと口賑わい交流施設整備事業」、「吾妻公園文化芸術施設整備事業」や「パークベイプロジェクト推進事業（富士見通り歩道再整備）」など、まちなか再生の基盤づくりとなる公共投資が着実に進んでおり、特に「富士見通り歩道再整備」においては、アーケードが撤去され、意匠性の高い新しい道路照明が設置されたことにより、中心市街地活性化への期待が高まっている。

一方で、東京湾アクアラインの着岸地である金田地区のにぎわいを、木更津駅周辺の中心市街地へと誘導し、回遊性を高めることが引き続きの課題である。今後は、この課題解決に向けて、官民が連携し各種施策を一層推進していく必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

単位（人）

（中心市街地 区域）	令和6年度 （計画前年度）	令和7年度 （1年目）	令和8年度 （2年目）	令和9年度 （3年目）	令和10年度 （4年目）	令和11年度 （5年目）
人口	5,214	5,088				
人口増減数	0	▲126				
自然増減数	▲54	▲64				
社会増減数	54	▲62				
転入者数	336	295				

（基準日：毎年度1月1日）

(2) 地価（公示価格）

（単位：円／㎡）

中心市街地の 標準地地番	令和6年度 (計画前年度)	令和7年度 (1年目)	令和8年度 (2年目)	令和9年度 (3年目)	令和10年度 (4年目)	令和11年度 (5年目)
中心市街地 標準地平均	76,500	78,640				
東中央1丁目 3番12外	144,000	151,000				
東中央2丁目 3番12	105,000	110,000				
中央2丁目 1406番1	39,500	41,100				
富士見1丁目 181番10	47,500	42,900				
中央3丁目 1246番64	46,500	48,200				

2. 令和7年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和7年度は、令和7年3月に認定を受けた第2期中心市街地活性化基本計画の5年間の計画期間の初年度であったが、1年目の取組みとしては、概ね順調に進捗していると思われる。

初年度の目標指標を見ると「休日歩行者通行量」「中心市街地の新規出店数」は、目標達成に向けた順調な歩みを感じることができた。一方で「中心市街地内の人口の社会増減数」は、数値が下降したものの、計画期間内に複数のマンション建設が予定されていることを勘案すると全体としては前向きな1年であったと評価ができる。

令和8年度は、富士見通り歩道再整備が完了になるとともに歩行者利便増進道路制度による指定を受けることから、ひとつの大きな転換点であると考ええる。官民連携をさらに深め、活発な民間投資に繋げていくとともに、第1期計画時に再整備された鳥居崎海浜公園等との相乗効果を生み出し、市民や観光客等の中心市街地への来訪機会を高めることで、面的な回遊性の向上やまちへの愛着の醸成に繋がることが期待される。

当協議会としても、富士見通り活性化部会を通じて、賑わい、交流を生み出し、中心市街地活性化を目指すとともに、本市の中心市街地を取り巻くまちづくりの進展等を踏まえながら、引き続き、まちの魅力を高め、多くの人が住み、人と人とが行き交う、にぎわいあふれる「みなとまち木更津」の再生に取り組んで参りたい。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
休日のにぎわい創出	休日歩行者 通行量(人) ※9 地点合計	14,856 人 (R6)	18,382 人 (R11)	18,647 人 (R7)	A	—	A
	[参考指標] 各種整備事業に係る施設 利用者数(人)	84,380 人 (R5)	441,259 人 (R11)	81,945 人 (R7)	C	—	A
街なか居住 人口の増加	中心市街地 内の人口の 社会増減数 (人／年)	56 人／年 (R1～R5 平均)	72 人／年 (R7～R11 平均)	▲62 人／年 (R7)	C	—	A
商業機能の 活性化	中心市街地 内の新規出 店数 (件／年)	4.6 件／年 (R1～R5 平均)	5.0 件／年 (R7～R11 平均)	5.0 件／年 (R7)	A	—	A

< 基準値からの改善状況（※1） >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

※上記について、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。

（例：a、b、c）

< 目標達成に関する見通しの分類（※2） >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A：目標達成が見込まれる

B：目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C：目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

2. 目標達成見通しの理由

「休日のにぎわい創出」（休日歩行者通行量）については、駅東側においては駅の図書室 FLAT で開催したイベント等により、目標値を超える結果となった。また、駅西側においても、基準値と比較し増加傾向にあることから、引き続き着実な事業の実施を図ることにより、目標は達成可能であると考え。また、参考指標としている各種整備事業に係る施設利用者数については、まちなか再生の基盤づくりとなる公共投資が今後進むことで達成可能であると考え。

「街なか居住人口の増加」（中心市街地内の人口の社会増減数）については、令和7年度については分譲マンションの竣工がなかったことにより中心市街地の社会人口は減少となっているが、令和8年度に1棟（147戸）の建設が予定されており、竣工後の入居見通しは計画策定時と変わらないことを見込んでいる。また、空き家等の既存ストックの活用と併せて推進することで、目標は達成可能であると考え。

「商業機能の活性化」（新規出店数）については、基本計画事業の活用によって6件の新規出店があった。最新値が目標値を達成しており、事業が順調に進んでいると言える。引き続き目標達成に向け、空き店舗の利活用促進や伴走型の創業支援等により、起業・創業者に向けた支援を行うことで、目標は達成可能であると考え。

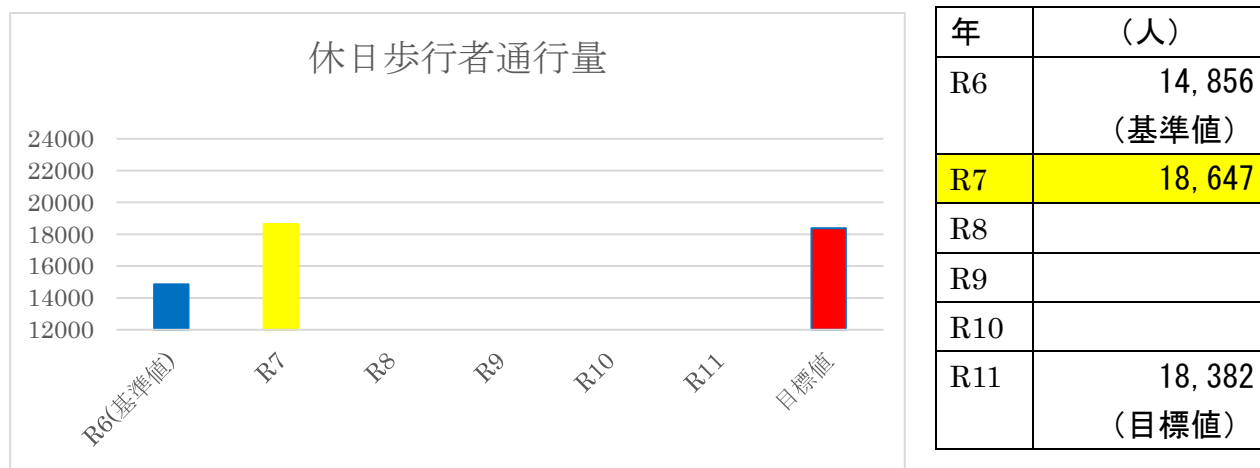
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

（1）「休日歩行者通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 105～P. 109 参照

●調査結果と分析

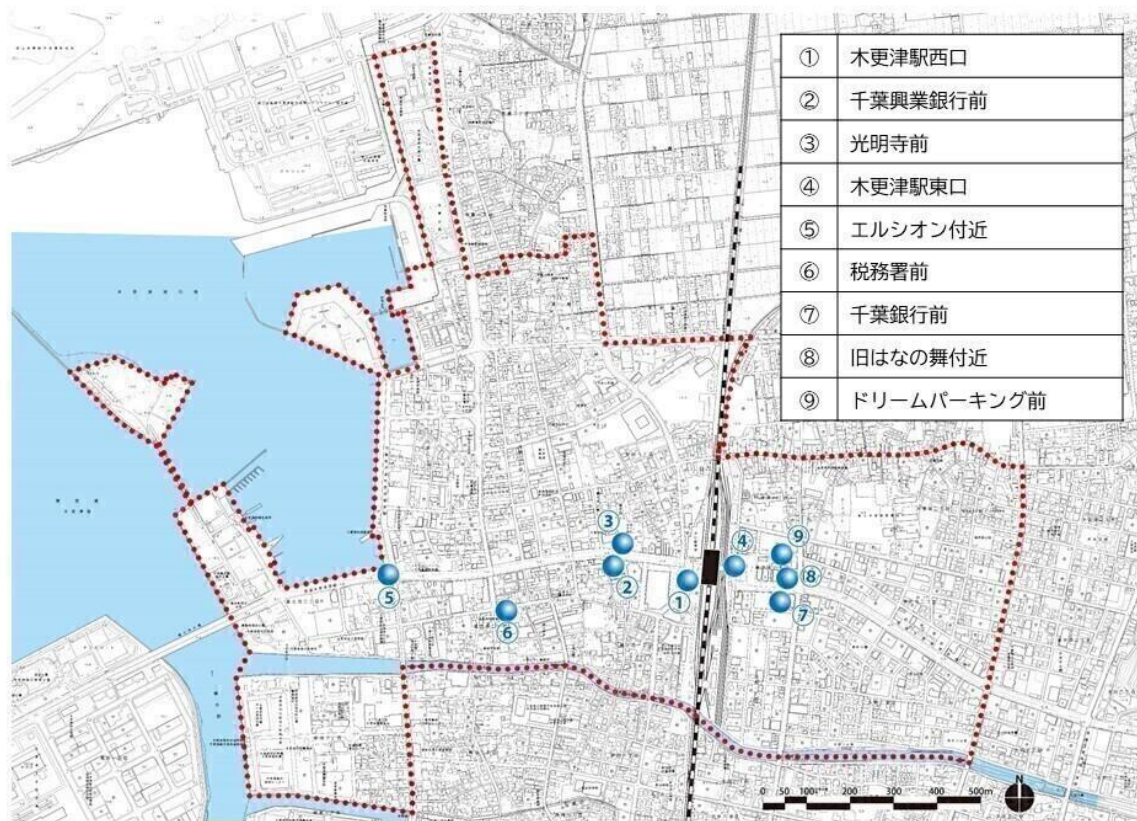


※調査方法：日曜日の午前7時～午後7時までの通行量を測定

※調査月：令和7年6月

※調査主体：木更津市・一般社団法人まちづくり木更津

※調査対象：中心市街地エリア内計9地点（木更津駅西口、千葉興業銀行前、光明寺前、木更津駅東口、エルシオン付近、税務署前、千葉銀行前、旧はなの舞付近、ドリームパーキング前）における歩行者通行量



(単位：人)

	令和 6 年度 (計画前年度)	令和 7 年度 (1 年目)	令和 8 年度 (2 年目)	令和 9 年度 (3 年目)	令和 10 年度 (4 年目)	令和 11 年度 (5 年目)
地点①	6,351	6,356				
地点②	447	507				
地点③	531	605				
地点④	4,325	5,154				
地点⑤	420	642				
地点⑥	150	173				
地点⑦	1,380	3,486				
地点⑧	413	539				
地点⑨	839	1,185				
合計	14,856	18,647				

〈分析内容〉

令和 7 年度は、基準値に対して約 1.25 倍の通行量となり、目標値を上回る結果となった。この要因としては、駅の図書室 FLAT で開催したイベント等により特に④⑦⑧⑨で効果がでたものとする。

また、駅西口についても、基準値に対し増加しており、特に調査地点②、③、⑤の増加率が高い。これは、第 1 期計画期間に実施された富士見通りの無電柱化やアーケードの撤去等により、明るく開放感ある歩道空間になったことによるものと思慮される。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 木更津駅みなと口賑わい交流施設整備事業（木更津市）

事業実施期間	令和7年度～令和10年度【実施中】 [認定基本計画：令和7年度～令和9年度]
事業概要	木更津駅みなと口隣接地に（仮称）木更津市民交流プラザ、市庁舎及び駐車場等の都市機能を集約した複合施設を整備する。 また、駅と複合施設を接続する歩行者デッキを整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）（令和7年度～令和10年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：731人増加 複合施設建設に向け、木更津駅前西口駐車場の解体工事及び設計業務委託を実施している。
事業の今後について	木更津駅前西口駐車場の解体工事は令和8年10月末、設計業務委託は令和8年7月末の完了を予定しており、その後、建設工事に着手する予定である。

②. 吾妻公園文化芸術施設整備事業（木更津市）

事業実施期間	令和6年度～令和10年度【実施中】
事業概要	「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）」を踏まえた、文化芸術施設の整備と公園全体の再整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	防衛省補助事業（令和7年度～令和10年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：1,125人増加 吾妻公園の再整備においては、ホール、図書館、中央公民館を複合化した文化芸術施設や大屋根広場の詳細な施設構造や設備等を定める建築実施設計について、関係機関との協議に不測の日数を要したことから、3か月の工期延長を行うとともに、公園内の一部区画における民間事業者によるカフェやドッグラン等の集客施設の整備に向け、公募の条件等を定める公募設置等指針を作成し、事業者の募集を開始した。
事業の今後について	令和8年6月末までに文化芸術施設や大屋根広場等の実施設計を取りまとめたうえで、文化芸術施設建設範囲に係る既存施設の撤去を行った後、建設工事に着手する予定。また、吾妻公園内の一部区画における民間事業者による集客施設については、事業者選定手続き等を進め、整備を推進する。

③ . まちなか交流施設管理事業（（一社）まちづくり木更津）

事業実施期間	令和5年度～【実施中】
事業概要	JR木更津駅東口階段脇にある空き店舗をリノベーションした物件に、物販やコワーキングが可能なカフェ・交流スペース等を備えた施設の運営を行う民間事業者を誘致し、街なかのにぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：200人増加 最新値：200人増加 当該事業は当初の計画どおり進捗した。 調査地点④と調査地点⑨の歩行者通行量は様々な要因があるが、それぞれ約20%～40%程度増えており、回遊性の向上に寄与している。
事業の今後について	歩行者通行量の増加に寄与している。今後も引き続き交流スペースを活用したイベント等を推進し、中心市街地への来訪機会の創出を図っていく。

④ . マンション建設事業（木更津市東中央2丁目地区）（民間事業者）

事業実施期間	令和9年度～令和11年度【未】
事業概要	土地利用の高度化により、居住環境の整備改善及び良好な市街地住宅の供給等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：178人増加 （「マンション建設事業」、「街なか居住マンション取得助成事業」、「空家バンク・リフォーム助成事業」の合計値） 民間事業者が建設に向け検討中。
事業の今後について	事業者と対話を重ね、事業の進捗状況等を管理する。

⑤ . マンション建設事業（木更津市富士見 3 丁目地区）（民間事業者）

事業実施期間	令和 6 年度～令和 8 年度【実施中】
事業概要	土地利用の高度化により、居住環境の整備改善及び良好な市街地住宅の供給等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：178 人増加 （「マンション建設事業」、「街なか居住マンション取得助成事業」、「空家バンク・リフォーム助成事業」の合計値） 民間事業者により建設が進められている。
事業の今後について	令和 8 年 1 1 月に竣工予定であることから、居住者に対し駅周辺の観光マップ等を配布することで回遊を促す。駅周辺において歩行者通行量の増加が期待される。

⑥ . 街なか居住マンション取得助成事業（木更津市）

事業実施期間	令和 1 1 年度【未】
事業概要	街なか居住マンション建設補助事業を活用し建設されたマンションの住戸を取得した人に対し補助金を交付する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：178 人増加 （「マンション建設事業」、「街なか居住マンション取得助成事業」、「空家バンク・リフォーム助成事業」の合計値） 街なか居住マンション建設補助事業の活用予定がない状況。
事業の今後について	事業者と対話を重ね、街なか居住マンション建設補助事業の活用を促す。

⑦ 空家バンク・リフォーム助成事業（木更津市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	空家バンク制度を運営するとともに、移住・定住を希望する人や地域の交流拠点となる施設を開設をしようとする人・団体などが、空家バンクに登録された空家を購入、賃貸又は賃借し、利活用するにあたり、リフォーム費用の一部助成を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：178人増加 （「マンション建設事業」、「街なか居住マンション取得助成事業」、「空家バンク・リフォーム助成事業」の合計値） 令和7年度は中心市街地における空家バンク・リフォーム助成の活用件数は0件であった。
事業の今後について	中心市街地内の市政協力員と市職員が一緒になって「空家」の現地調査を行い、新たに発掘した「空家」の所有者に対し、「空家バンク・リフォーム助成」のパンフレットを配布するなど活用していただけるよう市民に周知を図る。

⑧ 木更津港まつり事業（木更津港まつり実行委員会）

事業実施期間	昭和23年度～【実施中】
事業概要	木更津駅西口の富士見通りを会場とした「やっさいもっさい」及び内港地区を会場とした大規模な花火大会を開催する。市内最大の祭りとして行っている。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（令和7年4月～令和12年3月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：－ 令和7年度の実績として、やっさいもっさいについては53,000人の来場があり、花火大会については310,000人の来場があった。本事業は中心市街地への来訪機会の創出に寄与している。
事業の今後について	引き続き本事業を行い中心市街地への来訪を促すことで目標指標の達成を目指す。

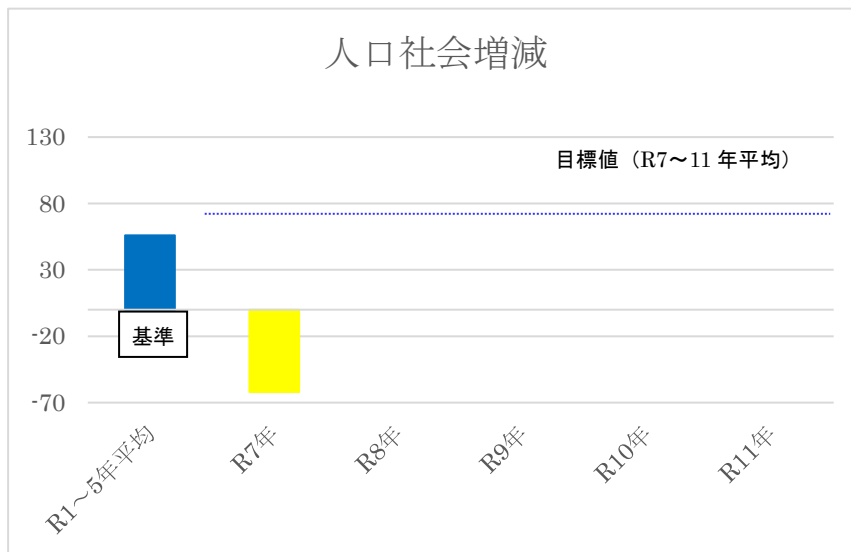
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、令和7年度は、目標値を上回る結果となった。

令和8年度は、富士見通り歩道再整備が完了予定であることから、歩行者利便増進道路制度により歩行空間の柔軟な活用を推進するとともに、第1期計画時に再整備された鳥居崎海浜公園との相乗効果を生み出し、確実に目標が達成できるよう、訪れる人々が集い、楽しみ、交流できるにぎわいあふれる空間づくりを進めていく。

(2)「中心市街地内の人口の社会増減」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 113～P. 115
参照

●調査結果と分析



年	(人/年)
R1 年～ R5 年平均	+56 (基準値)
R7	-62
R8	
R9	
R10	
R11	
R7～R11 年 平均	+72 (目標値)

※人口の社会増減：中心市街地 18 町丁の各年の社会増数（転入・転居）から社会減数（転出・転居）を引いた人数

※住民基本台帳に基づく、各年 1 月 1 日～12 月 31 日の集計

〈分析内容〉

中心市街地内の人口の社会増減数の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり事業が実施されたものの、令和 7 年は分譲マンション等の竣工が無く、転入・転居数が前年度までより減少したことに加え、戸建需要による市内転居及び転勤等に伴う転出が多かったことが原因となり、令和 7 年は 62 人の社会減となっている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. マンション建設事業（木更津市東中央 2 丁目地区）（民間事業者）

事業実施期間	令和 9 年度～令和 11 年度【未】
事業概要	土地利用の高度化により、居住環境の整備改善及び良好な市街地住宅の供給等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：87 人／年 （「マンション建設事業」、「街なか居住マンション取得助成事業」の合計値） 民間事業者が建設に向け検討中。
事業の今後について	事業者と対話を重ね、事業の進捗状況等を管理する。

②. マンション建設事業（木更津市富士見３丁目地区）（民間事業者）

事業実施期間	令和６年度～令和８年度【実施中】
事業概要	土地利用の高度化により、居住環境の整備改善及び良好な市街地住宅の供給等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：８７人／年 （「マンション建設事業」、「街なか居住マンション取得助成事業」、の合計値） 民間事業者により建設が進められている。
事業の今後について	令和８年１１月に竣工予定。中心市街地の利便性の向上やにぎわい創出の各種取組を進めることで、さらに中心市街地の魅力度を向上させ、定住促進を図っていく。

③. 街なか居住マンション取得助成事業（木更津市）

事業実施期間	令和１１年度【未】
事業概要	街なか居住マンション建設補助事業を活用し建設されたマンションの住戸を取得した人に対し補助金を交付する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：８７人増加 （「マンション建設事業」、「街なか居住マンション取得助成事業」、の合計値）
事業の今後について	事業者と対話を重ね、街なか居住マンション建設補助事業の活用を促す。

④. 空家バンク・リフォーム助成事業（木更津市）

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	空家バンク制度を運営するとともに、移住・定住を希望する人や地域の交流拠点となる施設を開設をしようとする人・団体などが、空家バンクに登録された空家を購入、賃貸又は賃借し、利活用するにあたり、リフォーム費用の一部助成を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：2人／年 最新値：0人／年 令和7年度は中心市街地における空家バンク・リフォーム助成の活用件数は0件であった。
事業の今後について	中心市街地内の市政協力員と市職員が一緒になって「空家」の現地調査を行い、新たに発掘した「空家」の所有者に対し、「空家バンク・リフォーム助成」のパンフレットを配布するなど活用していただけるよう市民に周知を図る。

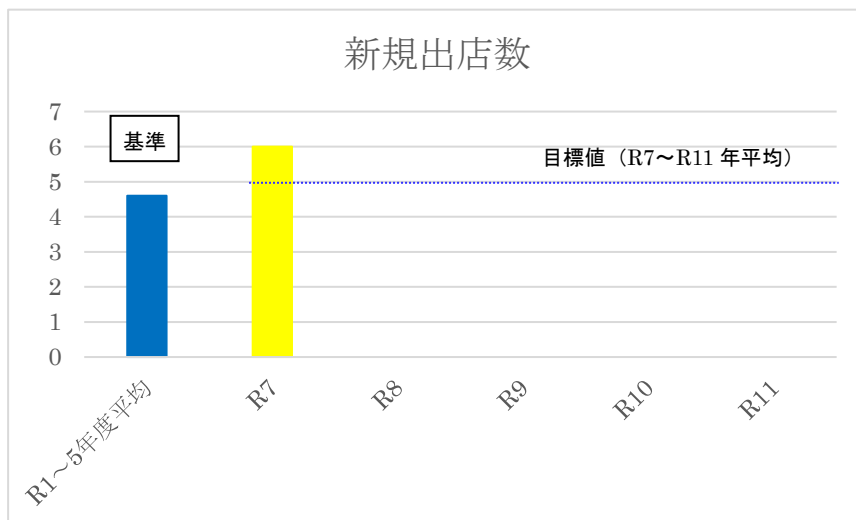
●目標達成の見通し及び今後の対策

令和7年については基準を下回る結果となったが、令和8年に富士見3丁目地区に分譲マンション1棟（147戸）が竣工予定であり、令和8年1月の段階で完売となっており、大幅に転入・転居が見込まれる。

引き続き、良好な市街地住宅の供給の確保を推進するため、引き続き民間事業者との対話を重ね、建設等の促進を図るとともに空家等の既存ストックの活用と併せて推進することで、目標達成を目指す。

（３）「中心市街地内の新規出店数」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P.116～P.117 参照

●調査結果と分析



年	(件/年)
R1～R5 年平均	4.6 (基準値)
R7	6
R8	
R9	
R10	
R11	
R7～R11 年平均	5 (目標値)

※空き店舗マッチング事業及び産業・創業支援事業による新規出店数を集計

※各年４月１日～３月３１日の集計

〈分析内容〉

令和７年度においては、中心市街地で基本計画掲載事業の活用による新規出店が６件あった。引き続き目標達成に向け、空き店舗の利活用促進や創業塾の開催等により、起業・創業者に向けた支援を行う必要がある。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗マッチング事業（木更津市）

事業実施期間	平成３０年度～【実施中】
事業概要	木更津市空き店舗情報登録制度を運営するとともに、空き店舗として登録されている物件をリフォームして新規出店する方に対し改装工事費の一部補助を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（令和７年４月～令和１２年３月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：３件／年 最新値：２件／年 令和７年度は、２件の補助金利用による新規出店があった。
事業の今後について	空き店舗活用支援事業補助金については、補助金利用者と登録店舗数を増やすために、らぶ-Biz による創業・開業希望者への支援や大家とのマッチング、不動産屋と連携した周知活動等を行う。

② 産業・創業支援事業（木更津市）

事業実施期間	平成27年度～【実施中】
事業概要	木更津市産業・創業支援センター（らづ-Biz）を設置し、あらゆる産業を支援する相談窓口を開設するとともに、創業や経営に関することを短期間で集中的に学べる創業塾を開催するなど、事業者や創業を希望する方へ必要な支援を行う。 特に、中心市街地においては、空き店舗マッチング事業の活用を含め、創業や新規出店に向けた支援を行うなど、商業の活性化やにぎわいの創出につなげる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：2件／年 最新値：4件／年 令和7年度は、創業塾を2期実施するなど、産業・創業支援センター「らづ-Biz」による支援を積極的に行い、中心市街地における出店は3件あった。
事業の今後について	産業・創業支援センター（らづ-Biz）の運営、常設の相談窓口の設置、創業塾の開催等を実施する。特に、中心市街地は地元商店会や市内学生、大手企業等と連携した事業者支援策やPR活動を展開し、中心市街地の活性化を促す。

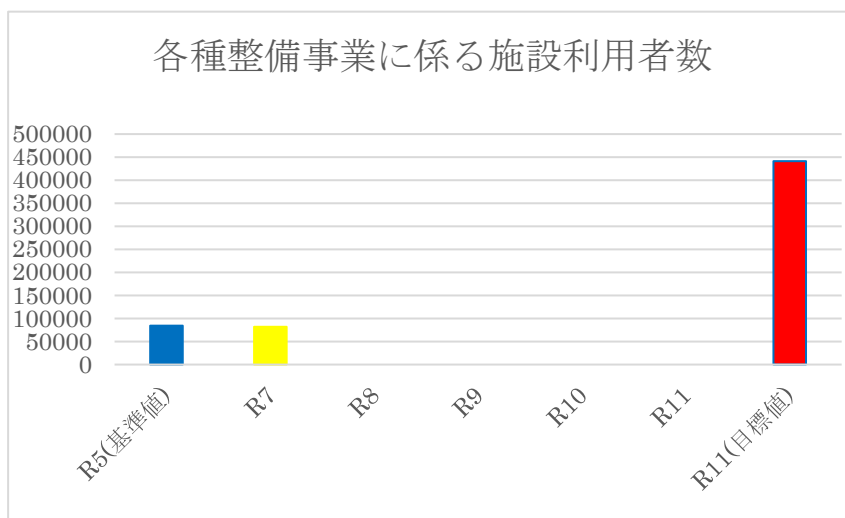
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、令和8年度は、引き続き目標達成に向け、空き店舗の利活用促進や創業塾の開催等により、起業・創業者に向けた支援を行うことで、目標の達成は十分可能であることが見込まれる。

また、中心市街地への新たな出店がにぎわいをつくり、更なる出店が見込まれるような好循環を生み出すために、街なかの出店情報の効果的な発信等の施策を強化する。

（４）参考指標「各種整備事業に係る施設利用者数」※目標設定の考え方認定基本計画
P.110～P.112 参照

●調査結果と分析



年	(人)
R5	84,380 (基準値)
R7	81,945
R8	
R9	
R10	
R11	441,259 (目標値)

〈分析内容〉

令和7年度は、基準値に対しほぼ横ばいの利用者数となった。この要因としては、まちなか交流施設が令和6年8月に開設され、令和7年度においては順調に利用者数を伸ばした半面、鳥居崎海浜公園の施設において、テナントが撤去したことにより令和7年2月から同年11月まで空き状況が続いたためだと考えられる

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 木更津駅みなと口賑わい交流施設整備事業（木更津市）

事業実施期間	令和7年度～令和10年度【実施中】 [認定基本計画：令和7年度～令和9年度]
事業概要	木更津駅みなと口隣接地に（仮称）木更津市民交流プラザ、市庁舎及び駐車場等の都市機能を集約した複合施設を整備する。 また、駅と複合施設を接続する歩行者デッキを整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）（令和7年度～令和10年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：112,608人／年増加 複合施設建設に向け、木更津駅前西口駐車場の解体工事及び設計業務委託を実施している。
事業の今後について	木更津駅前西口駐車場解体工事は令和8年10月末、設計業務委託は令和8年7月末の完了を予定しており、その後、建設工事に着手する予定である。

②. 吾妻公園文化芸術施設整備事業（木更津市）

事業実施期間	令和6年度～令和10年度【実施中】
事業概要	「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）」を踏まえた、文化芸術施設の整備と公園全体の再整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	防衛省補助事業（令和7年度～令和10年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：206,911人増加 吾妻公園の再整備においては、ホール、図書館、中央公民館を複合化した文化芸術施設や大屋根広場の詳細な施設構造や設備等を定める建築実施設計について、関係機関との協議に不測の日数を要したことから、3か月の工期延長を行うとともに、公園内の一部区画における民間事業者によるカフェやドッグラン等の集客施設の整備に向け、公募の条件等を定める公募設置等指針を作成し、事業者の募集を開始した。
事業の今後について	令和8年6月末までに文化芸術施設や大屋根広場等の実施設計を取りまとめたうえで、文化芸術施設建設範囲に係る既存施設の撤去を行った後、建設工事に着手する予定。また、吾妻公園内の一部区画における民間事業者による集客施設については、事業者選定手続き等を進め、整備を推進する。

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和7年度は推計値を若干下回る結果となったが、令和8年度においては、鳥居崎公園の新規出店テナント及び順調に利用者が見込まれるまちなか交流施設により基準値を上回るものと考え、今後、木更津駅みなと口賑わい交流施設整備事業整備事業及び吾妻公園文化芸術施設整備事業の供用開始に伴い目標の達成が見込まれる。